

錦ヶ丘地区社協だより

令和6年1月1日発行

錦ヶ丘地区社会福祉協議会

～新年あけましておめでとうございます～

錦ヶ丘地区社会福祉協議会 会長 影山 明彦



皆さまにおかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様方には、日頃より錦ヶ丘地区社協の運営に対しまして、深いご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本会の発足後 10年目を迎え、錦ヶ丘でも高齢化の進行、個人の価値観の多様化、地域のつながりの希薄化、コロナの流行と地域を取り巻く環境は大きく変化し、様々な福祉課題が生じてきています。

このような中、地域福祉の推進役としての本会には、多様な地域課題を受け止め、その解決に向けた具体的な仕組み作りや地域で生活する住民同士で支え合う体制の構築が求められていると思います。

錦ヶ丘住民の皆様を始め、関係機関・団体と連携を図りながら、誰もが安心して慣れ親しんだ錦ヶ丘で暮し続けられるよう努めてまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、本年も皆さまにおかれましては、幸多い年でありますように心からご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



【今月から認知症基本法が施行】

認知症の方は現在600万人以上と推計され、前段階の軽度認知障(MCI)を含むと1000万人を超えるとみられます。**本法の目的に**認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことが出来るよう認知症施策を総合的・計画的に推進し認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会**〈共生社会〉**の実現を推進することを目的とするとあります。

【令和5年度包括圏域会議出席者の声の一例です】

昨年9月から11月にかけてあやし地域包括支援センターが主催しそれぞれの地区で、行政職員や地域の関係者が集い、**認知症の方が住み慣れた地区で暮し続けることが出来る地域支援について**をテーマにグループワークをおこないました。

- ☆民生委員や町内会と連携し見守り体制と共生社会の輪を広げる。
- ☆一人で抱え込まない。民生委員や包括支援センターに相談する。
- ☆介護保険サービスを学び利用することも大事だ。
- ☆デイサービス・ショート・配食サービスを活用し介護者の負担を軽減を図る。
- ☆認知症当事者への接し方を知りたい。
- ☆認知症カフェに参加し当事者や介護者の声を聴き支え合いの知恵を学ぶ。

あやし地域包括支援センター

住所：青葉区落合4丁目2-22 電話：022-392-2230

相談：月曜日～土曜日 8：30～17：00 （来所時は事前にお電話下さい）

三団体への募金ありがとうございました。ご協力に心から感謝いたします



社会福祉協議会の活動は、皆様からご協力いただいた社協会費および日赤会費、共同募金寄付金の配分金が充てられています。令和5年度に皆様から寄せられました寄付金は次のとおりでした。

「思いやり助成金」で音響機器をコミュニティセンターに配備出来ました



(単位：円)

自治会	社協会費	日赤会費	共同募金	小計	自治会	社協会費	日赤会費	共同募金	小計
錦ヶ丘セントラルハイツ	4,500	7,500	7,500	19,500	錦ヶ丘6丁目	49,800	81,600	81,630	213,030
錦ヶ丘1丁目	4,500	7,000	6,000	17,500	錦ヶ丘7丁目	34,800	57,000	53,500	145,300
錦ヶ丘2丁目	22,500	4,500	38,000	65,000	錦ヶ丘8丁目	46,800	77,500	62,500	186,800
錦ヶ丘3丁目	104,100	173,500	171,500	449,100	錦ヶ丘9丁目	26,400	44,000	44,500	114,900
錦ヶ丘4丁目	45,000	73,000	72,500	190,500	合 計	392,500	663,600	626,800	1,682,900
錦ヶ丘5丁目	34,000	53,500	48,500	136,000					

◆社協だよりについてのご要望は 連絡先/事務局(立花幸賢)

小地域ネットワーク活動

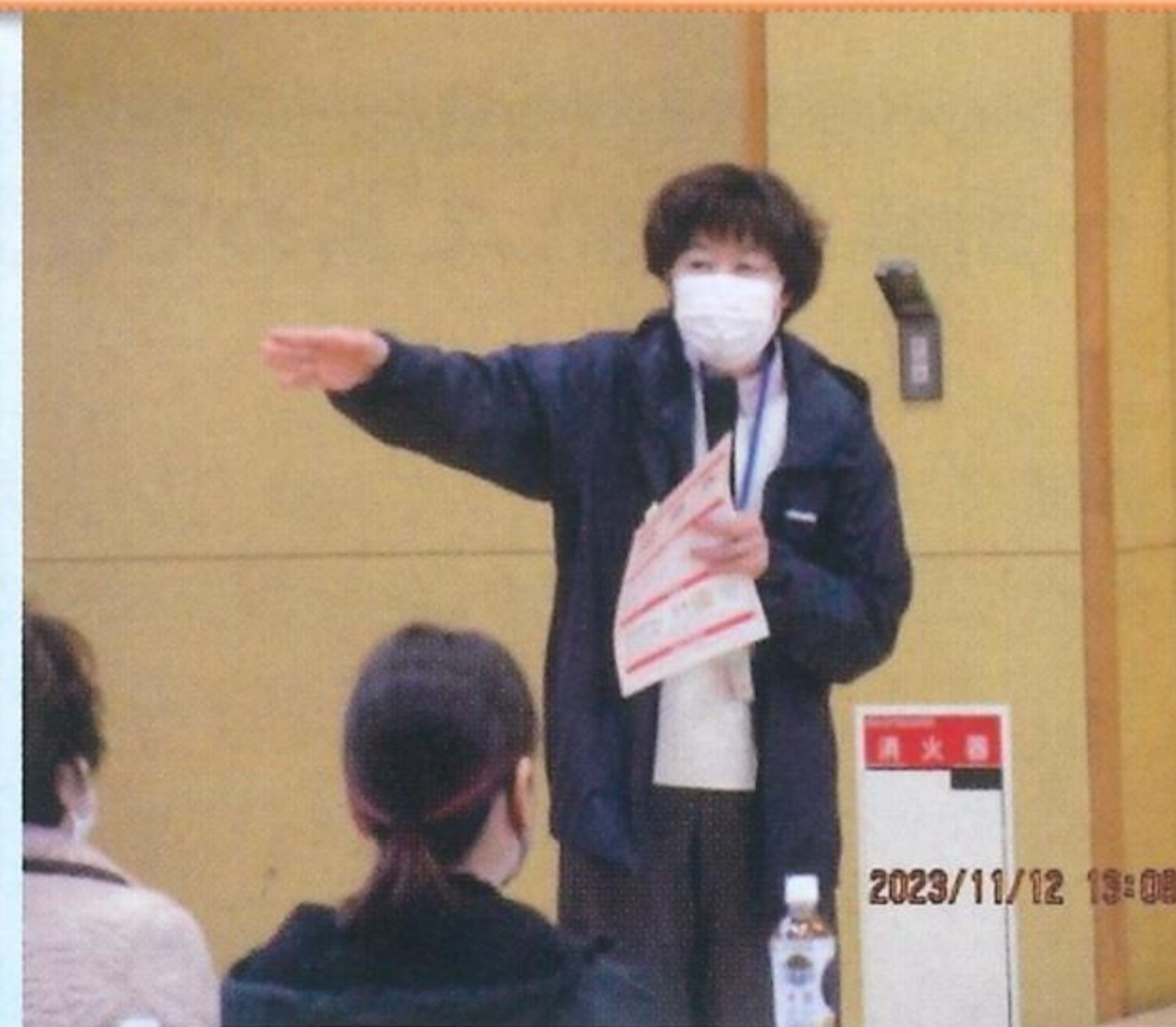
フレイル予防のための食事の学習会(赤十字奉仕団奨励事業)2023.11.12 コミセン多目的ホール 30名受講

65歳以上の皆様へ フレイル予防を始めませんか?

フレイルとは、心身の機能が健康な状態と要介護状態の中間(虚弱)の状態です。早めに気づいて対策をとれば、フレイルから健康な状態に戻ることが可能です。

フレイル予防の3本柱(無理せず楽しく続けること)

- ①身体を動かし基礎代謝力を維持する。
- ②たんぱく質やビタミン等バランスの良い食事をとる。
- ③社会とのつながるため交流の場を確保する。



聞きなれないことば 「赤十字奉仕団奨励事業」について

仙台市社協青葉区
宮城支部事務所
菅原恭子CSW(コミュニティー・ソーシャルワーカー) さんにご説明いただいた



フレイル予防料理のレシピ(料理名 がんづき)

- 1.材料 牛乳200ml、酢100ml、サラダ油大1、卵2個、小麦粉300g、砂糖(三温糖)230g、重曹20g、はちみつ大3、黒ごま、レーズン、くるみ、甘納豆
- 2.調理手順
 - (1) 材料をボウルに順番に入れてよく混ぜる
 - (2) 蒸し器にオーブンペーパーを敷き湯気が立ったら生地を流す ずっと中火で
 - (3) 5分くらいで表面が乾いたところにごまなどをのせる
 - (4) 全体で40分くらい 火力を落とさない



講師の方紹介

高橋シゲ子さん
高橋恵さん

丁寧なご説明、ありがとうございました。

昔の味美味しかった

会場で実食し、お土産としてもいただきました。

がんづきを蒸してる空き時間での

笑いで免疫力アップ～東北大学落語研究会公演～



夏のミーティングで 新品ビブス着用(2023.7.28)

錦小3年生の総合的な学習で、みなさんの活動を紹介してありますよ! (2023.9.8)



フラワー・スターロード花壇 冬花植え(2023.11.4)

錦エースターさんからチュリップの球根240球、いただきました。春に咲きます。お楽しみにしていますね!

お楽しみ反省会(2023.12.3)

「椅子とりゲーム」に夢中。冬期間活動の要望あり
2024.2.10に「認知症オレンジリング勉強会」があります。

広報委員会より

☆錦ヶ丘小学校の「あいさつ運動」は、とても素晴らしいと思います。子どもたちの元気な声からほっこりした気持ちと大きな勇気をいただきました。ありがとうございました。

☆仙台市社会福祉協議会のコンセプトは

「一人ひとりの市民がその人らしく地域で安心して、いきいきと暮らせる福祉のまちづくり」です。